

# 6/13(金)にデータに基づき地域の現状・課題に向き合うワークショップを実施しました。人口や経済の視点から課題を分解し、「地域が変わるために何が必要か」を探る第一歩としました。

## 第2回ワークショップ「北塩原の現状・課題に向き合う」(1/2)

開催概要

【日時】 6/13(金) 15:30-17:15

【場所】 北塩原村役場集会室5

【参加者】 現地11名 ※事務局を除く

開催目的

- ・ビジョン（地域のありたい姿）について議論する前に、まずはデータをもとに地域の現状に対する理解を深める。
- ・特定した地域課題に対して、村の既存施策が課題にどこまでアプローチできているかを振り返る。

当日の流れ

### 1. 導入 (15分)

- ・アイスブレイク（「わたしの“村あるある”」を共有）
- ・ワークショップの目的・目標の確認、進め方に関する説明

### 2. “地域の現状・課題に向き合う”セッション (30分)

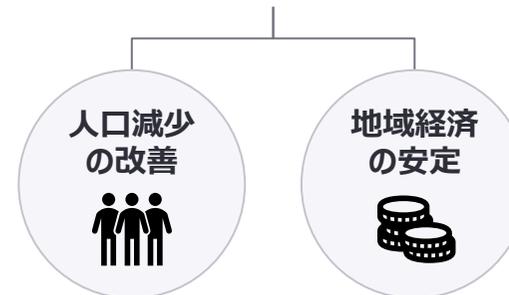
- ・村の存続に影響する「人口の維持・増加」と「経済循環の安定」の観点から、データに基づく地域の現状を事務局より共有
- ・特に深刻な問題とその要因の仮説についてグループで議論し、仮説検証に必要な追加データ等を洗い出し

### 3. “必要な施策を検討する”セッション (30分)

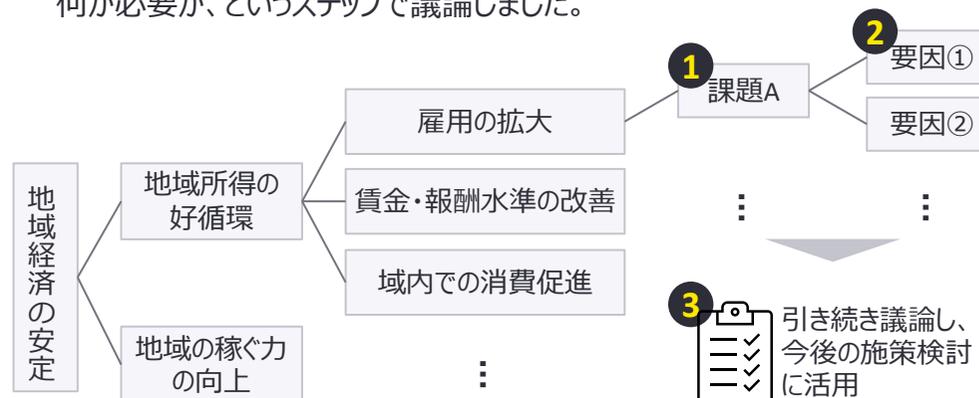
- ・特に深刻な問題の解決に向けて必要だと思う施策を洗い出す
- ・既存施策がある場合は、その成果や課題について振り返る

- 地域の現状・課題を整理するにあたり、まずは客観的なデータに基づいて考える出発点として、「人口減少の改善」と「地域経済の安定化」の2つの視点から地域の現状を見つめ直すことから始めました。

### 村の存続に関わる根本的な条件とは何か？



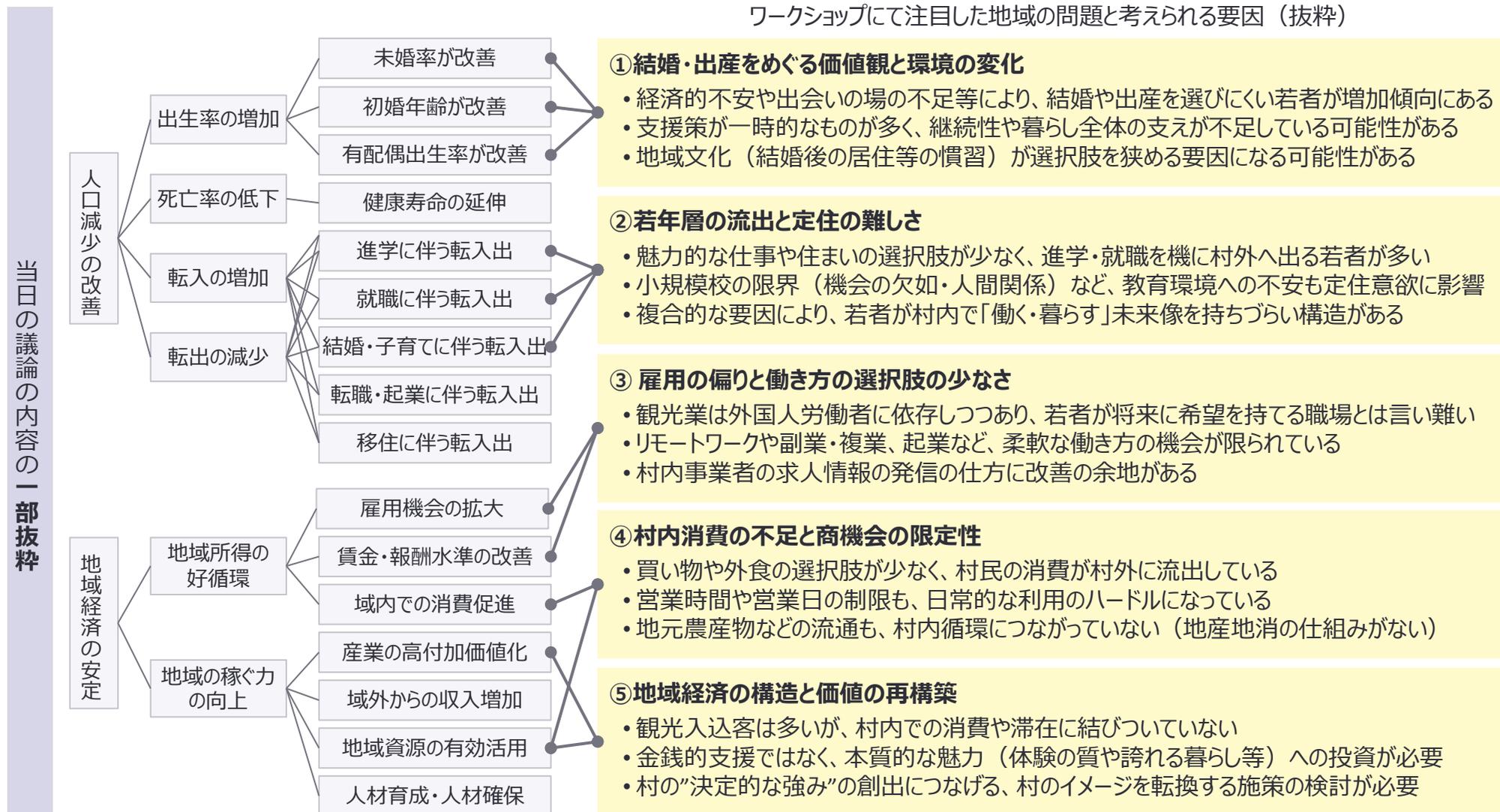
- 2つの視点を出発点として、①現状としてどこに問題があるのか、②その問題はなぜ起きているのか、③どんな変化が必要か・変化を実現するために何が必要か、というステップで議論しました。



# ワークショップにて注目した地域の主な問題と考えられる要因を抜粋しました。引き続き、各分野の現状の把握・課題の深堀を進めるとともに、村として進むべき道を明らかにしていきます。

## 第2回ワークショップ「北塩原の現状・課題に向き合う」(2/2)

ワークショップにて注目した地域の問題と考えられる要因（抜粋）



# 地域の将来の課題や可能性を明らかにするための資料として「地域カルテ」を作成中です。 村の健康診断書のように、地域を“診る”ための情報整理ツールとして活用していきます。

## 地域カルテの概要

- 「地域カルテ」とは、北塩原村の「いま」をデータに基づいて見える化し、将来の課題や可能性を明らかにするための「村の健康診断書」です。
- 職員や村民の皆さんと対話しながら、持続可能な村づくりを推進していくための情報整理ツールとして活用していきます。

### 地域カルテを作成する目的

#### なぜ作る？

- 地域の現状や課題等を把握し、職員や村民の皆さんと共有・対話するため
- 将来のビジョンや施策立案に関する議論の出発点（共通理解）とするため
- 事実に基づくエビデンスベースの議論を促進するため

### 地域カルテの活用方法

#### 誰が・いつ使う？

- 職員や村民の皆さんとの対話の場（ワークショップ等）で活用
- 北塩原村の施策立案・村づくりの基礎資料として活用
- 外部（関係人口・移住者・域外企業等）に対する説明資料として活用

### 地域カルテの作成プロセス

#### どのように作る？

- 地域カルテの内容は、職員や村民のみなさんとの議論を踏まえて随時アップデートをかけていきます。

### 地域カルテの構成（案）

#### どのような内容になっている？

- 地域カルテは以下のような構成で作成していく予定です。（左記のとおり、随時アップデートをかけていきます）

#### 初版作成中

地域の基本データや現状分析をもとに、企画室にて初版の地域カルテを作成します。

#### 内容の充実化

庁内ワークショップ等にて、各分野の視点から内容を補強・見直します。

#### ブラッシュアップ

地域の実情や住民の声を反映し、より現場に即した内容へ改善します。

#### 定期的に更新

地域の変化に応じて定期的に更新し、計画づくりや対話の場で活用します。

#### 【1】地域のプロフィール

人口や面積、主要産業など、地域の基本情報をまとめています。

#### 【2】地域の現状

人口動態や産業構造など、地域の現状について、主に統計データをもとに整理していきます。

#### 【3】地域の強み

地域が持っている魅力やポテンシャルについて記載していきます。

#### 【4】地域の課題

地域が直面している問題をデータや住民の声をもとに明らかにしていきます。

#### 【5】未来シナリオ

将来どのような状態が予測されるかを複数のシナリオとして提示していきます。